

One-Netbook A1 よくある質問と回答

Q.7インチ以下のUMPCとして約10年ぶりに完全日本語キーボード対応とのことだが、具体的にはどの製品以来の日本語キーボード対応なのか？

A. 過去、様々なUMPCが発売されていました。しかし、富士通：「FMV-BIBLO LOOXU/G90」（2010年6月5.6インチ）や、SONY Type P（8型ワイド2010年05月）などを最後に、日本市場において後継機の発売がございませんでした。この度One-Netbook社とテックワン共同で日本市場向けに日本語キーボードを搭載したOne-Netbook A1を発売いたします。

この10年で性能面においても大きな進化を遂げました。VAIO Pに搭載されていたAtom Z530@1.6GhzのPassmarkは183、One-Netbook A1に搭載されているインテル Core m3-8100YのPassmarkスコアは3027、単純比較で約16倍のスコアになっています。メインメモリも2GB→8GBと大幅アップ。ストレージもNVMe M.2 高速SSDを内蔵しています。

参考：新旧スペック比較

製品名称	発売	主な仕様	CPU Passmark スコア
VAIO P 	2010年	Atom Z530 /2GB/64GB	183
One-Netbook A1 	2020年	Core m3 8100Y/8GB/256GB	3027

Q.テックワンが発売してきた製品は、日本語キーボードではなかったのか？

A. OneMix3Proなども日本語キーボードを搭載していたが、8.4インチ。7インチ以下と定義されるUMPCではOneGx1に続いて約10年ぶりの日本語キーボード搭載UMPCになります。

Q.日本語キーボードの特徴を教えてください。

A.日本語キーボードはテックワン社とOne-Netbook社の共同で開発をいたしました。過去のOneMix2シリーズと違い、Fキーが独立しているのも、日本のユーザーには特に使いやすさを実現しています。

Q.3軸ヒンジはOne-Netbook社の独自開発とのことですが、特許の申請はしていますか？

A.中国で現在特許申請中です。One-Netbook社はこのヒンジの開発に1年の歳月をかけました。小型でスムーズに回転する圧のいくつものテストパターンを作成し、最終的にA1に搭載するヒンジを確定いたしました。

Q.どのようなユーザーを対象にしていますか？

A.小型で高性能なWindows PCは様々な場所で活躍いたします。特に7インチ2in1は片手で持てるサイズ重量で、本来の2in1の役割である「タブレットモード」を最も生かせる機種です。移動中やベッドの上でも使うことができます。縦型にもてばPDFやブックリーダーとしてとても使いやすく、またペンでメモを取ることができます。

また豊富な拡張ポートを備えたことで、初心者の方でも使いやすく、またエンジニアの方がサーバールームで使用する際にも最適です。

Q.テレワークに対応していますか？

A.One-Netbook A1 は「モダン PC」の要素である「小型」「薄型」「高性能」「生態認証」の要件をすべて備えています。またテックワンでは「テレワーク応援セット」としてバッテリー内蔵のモバイルモニター PD01 や WEB カメラのセット販売も行っています。 家の中では大画面で、外出先でもさっとだしてすぐに使える、まさに現在の働き方にマッチした環境を安価に構築することが可能です。

<https://www.one-netbook.jp/landing/pd01/>

Q.メモリ 16GB モデルなどは販売する計画はないのか？

A.現在 16GB 版の予定はありません。

Q.大手家電量販店や Amazon などでは販売しないのか？

A.先先行予約の後に順次販売開始予定です。

Q.先先行予約の予約上限数はあるのか？

A.予約上限数はありません。

Q.Windows Pro 版へのアップグレードは可能ですか？

A.Windows 10 の [設定] - [ライセンス認証] より Microsoft Store にて購入いただくことで Windows 10 Pro にアップグレードが可能です。

Q.Linux 対応について教えてください。

A.Ubuntu 対応ドライバーを提供する予定です。(提供時期は発売後の予定です。)